英語科　学習指導案

八尾市立龍華中学校

研究テーマ：学びへのスムースな導きと、学んだことを定着させ、深めるための授業

教科	英語科	学年・組	第２学年３、４組	場所	たちばなA教室
単元名	Let‘s introduce our artworks!　～自分の”好き”を伝える作品発表会～　（第６時／全６時）				
本時の目標	・制作した作品を簡単な英語で紹介し、自分の好きなことや考えを伝えることができる。 ・友だちの発言に対してリアクションや質問を積極的に行い、温かい雰囲気の中で相互にやりとりを楽しむことができる。				
本時の評価規準	・ジェスチャーや声の大きさを工夫して、英語で自分なりに伝えようとチャレンジすることができている。 ・友だちの発表をしっかりと聞き、興味をもって質問するなど、温かい雰囲気づくりに協力できている。 ・友だちとのやりとりを楽しみ、準備や発表の中で自分の頑張ったことを振り返ることができている。				
本時の判断基準	評価の観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	支援を要する生徒へのてだて	
	思考・判断・表現	学習した語句や表現を活用し、作品を示しながら、声の大きさや発音を工夫して聞き手に伝わるように発表している。	学習した語句や表現やモデル文を参考にしながら、簡単な英語を使って最後まで発表をやりきることができている。	ルビ付きの原稿を用意したり、モデル文を黒板に掲示したりするなど、安心して発表できるようにする。	
	主体的に学習に取り組む態度	友だちと一緒に言語活動を楽しんでいる。英語が苦手でも、頑張って伝えようとする姿勢が見られる。友だちへの拍手、質問、励ましなど、協力的な態度が見られる。	言語活動に参加して友だちの発表を聞き、教師の働きかけに応じて自分の課題に最後まで取り組むことができている。	緊張や不安、恥じらいなどを少しでも和らげられるように、本人への働きかけに加えて周りへの温かい雰囲気づくりに気をつける。	

１．本時のめあてと、そのねらい

めあて	自分の作品の特徴や好きなところを英語で紹介し、友だちの発表に質問や感想を伝えよう 【探究・思考型】
ねらい *教材観、生徒観、指導観を含む	本時では、自らテーマを選んで制作した作品を簡単な英語で表現するという活動を設定した。英語に対して苦手意識を持つ生徒もいるが、自分で作った愛着のある作品を扱うことで英語発信への意欲を高め、表現できたという達成感から学習への自信を育みたい。また、相互の質問や感想を通して温かい交流を促し、今後もそれぞれの努力や個性を尊重し認め合える関係性を築いていけるよう期待する。

２．期待する振り返りの好例（めあてを踏まえて）

・英語で話すことは難しかったけど、準備したメモを見ながら最後までやりきることができて良かった。（英語表現・発表できたことへの自信）

・不安もあったけど、みんなからうなずきや温かい拍手がもらえて安心した。（認め合い）

３．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語の基本的な語句や文法、表現を理解し、英語を使う際に文脈に合った形で用いることができている。	自分の伝えたいことを、ジェスチャーや指差しなども交えて、適切な発音と声の大きさで聞き手にわかりやすく表現することができている。	意欲的に作品作りや発表の準備に取り組み、友達の発表に対しても温かい拍手をしたり質問をしたりして協力的である。

４．単元の指導と評価の計画

時	学習内容	評価の観点
第１時	英会話練習 作品紹介の英文作り 制作活動	自分なりの興味や視点をもって作品作りができているか。（主体的に学習に取り組む姿勢） ペア活動、発表を通して、他者の発言に耳を傾け、自分の考えを伝えようとしているか。（主体的に学習に取り組む姿勢） 英語の基本的な語句や文法、表現を理解し、ペアワークや発表の際に文脈に合った形で用いることができているか。（知識・技能） 自分の伝えたいことを、ジェスチャーや指差しなども交えて、適切な発音と声の大きさで聞き手にわかりやすく表現することができているか。（思考力・判断力・表現力）
第２時	英会話練習 作品紹介の英文作り 制作活動	
第３時	英会話練習 紹介の準備物作成 質問や答え、感想の準備	
第４時	英会話練習 紹介の準備物作成 質問や答え、感想の準備	
第５時	英会話練習 作品発表の練習	
第６時 本時	英会話（ペアワーク） 作品の発表 振り返り（ワークシート）	

５．本時の学習過程

	学習活動	◇指導上の留意点 〇理解の不十分な生徒への手立て	評価の観点 （評価方法）
めあて：自分の作品の特徴や好きなところを英語で紹介し、友だちの発表に質問や感想を伝えよう。			
導入 （１０分）	ウォーミングアップ ・挨拶 ・すらすら英会話	・プリントを見ながら質問と答えの練習をする。	・英語を話そうとする意欲が見られるか。（主体的に学習に取り組む態度）
展開１ （１０分）	制作の発表 ・発表時に使う表現の復習 ・教師の例	・ポイントの表現を黒板に張りつけて、確認しやすくする。	・一緒に要点を確認できている。（主体的に学習に取り組む態度）

展開２ （２５分）	・一人ずつ自分の作品を英語で紹介する。（１人５分間程度） ・その後、聞き手は英語で質問をしたり感想を述べたりする。 ・時間が余れば、作品に関する自分の好きなことについて日本語で補足説明する。	・伝わりにくい英語があれば、日本語で補足を入れる。 ・質問や感想が難しいときは、例文を参考に発言するよう促す。 ・定型文での英語のやりとりが終わったら、日本語を使って質問や補足説明などの時間をとる。	・自分の言葉で説明したり伝えたりすることができている。（思考力・判断力・表現力） ・英語の基本的な語句や文法、表現を理解し、文脈に合った形で用いることができている。（知識・技能） ・関心のあることへの深い知識や理解があり、わかりやすく伝えることができている。（知識・技能）
まとめ （５分）	本時の振り返り ・自分が頑張ったところや友だちのよかったところなどを振り返る。	・自分の作品について何を伝えたか。友だちに伝わるように工夫したことと、友だちの発表を聞いてわかったことなどを考える。 ・一人ずつ簡単な感想を述べる。	・これまでの取り組みを前向きな気持ちで振り返ることができる。（思考力・判断力・表現力）